

記者発表（配付）資料

平成 23 年 10 月 11 日

所属部課	館長	副館長	担当	連絡先
博物館	湯本重男	樋口尚樹	樋口尚樹	25-6447

件名	丙辰丸（へいしんまる）・庚申丸（こうしんまる）等帆船模型の寄贈について
----	-------------------------------------

このたび福岡市在住の阿部孟二氏（77 才）より、幕末期萩藩が建造した洋式軍艦丙辰丸・庚申丸と薩摩藩が建造した洋式軍艦昇平丸の模型の寄贈を受けます。模型の受納および感謝状の贈呈式を下記の日程で行います。

1. 日時 平成 23 年 10 月 14 日（金）午前 11 時 30 分～

2. 場所 萩博物館応接室

3. 丙辰丸・庚申丸について

幕末に丙辰丸・庚申丸を建造した恵美須ヶ鼻造船所跡（萩市椿東中小畑）は、世界遺産登録を目指している「九州・山口の近代化産業遺産群」（平成 21 年 1 月 5 日ユネスコの世界遺産暫定一覧表登載）の構成資産の一つになっています。嘉永 6 年（1853）、ペリー来航を契機として幕府は各藩の大船建造を解禁しました。萩藩でも安政 3 年（1856）萩城下郊外の小畑浦の恵美須ヶ鼻に軍艦製造所を建設することを決定し、同年 12 月には萩藩最初の洋式軍艦「丙辰丸」（全長 25m）が、また万延元年（1860）には 2 隻目の洋式軍艦「庚申丸」（全長約 44.5m）が進水しました。なお、丙辰丸には、万延元年（1860）高杉晋作が乗船し江戸まで航海しました。

4. 寄贈者阿部孟二氏について

阿部孟二氏は萩市の出身で、帆船模型の製作を趣味にされています。萩市出身ということで、萩博物館に帆船模型を是非寄贈したいという申し入れを受け、昨年も咸臨丸（幕府がオランダから購入した軍艦、日本人のみで初めて太平洋を横断）の寄贈を受けました。その後、世界遺産候補となっている萩小畑の恵美須ヶ鼻造船所で建造された丙辰丸と庚申丸の模型を毛利家文庫の図面（「丙辰丸製造沙汰控」の「丙辰丸図」、「大鑑製造一件沙汰控」の「庚申丸図」、山口県文書館蔵）をもとに製作され、このたび寄贈を受けることになりました。阿部氏は、主にこの二つの図面をもとに、できるだけ元の姿の再現を目指し模型を製作されました。

5. 一般公開

平成 23 年 10 月 22 日（土）から 11 月 20 日（日）まで、萩博物館の「萩学コーナー」で寄贈を受けた丙辰丸・庚申丸・昇平丸・咸臨丸の 4 隻の模型を展示します。

【参考画像】

寄贈いただく予定の船の画像です。画像をご入用の際は、受贈後撮影したものを提供します。



丙辰丸模型



庚申丸模型